

社会福祉施設
避難確保計画

対象災害：土砂災害（がけ崩れ）

【施設名： 】

年 月 作成

様式編 目次

No.	項目	様式等	ページ	市への提出
1	計画の目的	様式1	1	要
2	施設の概要	様式1	1	要
3	施設が有する災害リスク	様式1	1	要
4	防災体制	様式2	2	要
5	情報収集・伝達	様式3	3	要
6	避難誘導	様式4	4	要
7	避難に必要な設備の整備	様式5	5	要
8	避難に必要な装備品や備蓄品の整備	様式5	5	要
9	防災教育及び訓練の実施に関する事項	様式6	6	要
10	利用者緊急連絡先一覧表	様式8	7	不要
11	緊急連絡網	様式9	8	不要
12	外部機関等の緊急連絡先一覧表	様式10	8	不要
13	対応別避難誘導一覧表	様式11	9	不要
-	避難先までの避難経路図	別紙1	10	要
-	施設建物内の避難経路図	別紙2	11	要

1 計画の目的

この計画は、本施設の利用者の土砂災害の発生時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。

また、作成した避難確保計画に基づいて、安全な避難行動を確実に行うことができるよう、防災教育や訓練を行い、施設の職員や利用者に対して、土砂災害に関する知識を深めるとともに、訓練等を通して課題等を抽出し、必要に応じてこの計画を見直ししていくものとする。

2 施設の概要

利用形態	通所	入所

※利用形態を記載

※入所には、長期・短期が分かるように記載

建物の階数		階

※建物の階数を記載

施設の人数

	平日				休館日			
	利用者		施設職員		利用者		施設職員	
昼間	約		名	約	名	約		名
夜間	約		名	約	名	約		名

※利用者数は最大の利用者数を記載（おおよその利用者数でもよい）

※昼間は通所部門と入所部門の合計人数を記載

※昼間は入所部門の人数を記載

3 施設が有する災害リスク

施設において想定されている災害の種別や災害の大きさ等を記載しましょう。

土砂災害

「土砂災害特別警戒区域」又は 「土砂災害警戒区域」	☒ 該当（以下の該当する分類に ☒) ☒ がけ崩れ（急傾斜地の崩壊） ☐ 土石流 ☐ 地すべり（地滑り）	☐ 該当なし
------------------------------	--	-------------------------------

● 計画の報告

計画を作成又は必要に応じて見直し・修正をしたときは、遅滞なく、当該計画を市長へ報告する。

● 計画の見直し

避難訓練の結果や社会情勢の変化に伴い、定期的に見直すものとする。

4 防災体制

【防災体制確立時の組織構成と役割分担】

レベル	統括指揮者 ※全体を指揮			情報連絡班 ※情報収集や伝達			避難誘導班 ※利用者の避難支援			装備品等準備班 ※設備や装備品等の点検・準備		
	責任者			責任者			責任者			責任者		
	人数		名	人数		名	人数		名	人数		名
警戒レベル 1 ↓ 災害への心構えを高める段階	・ 状況把握、指揮 ・ 体制確立の判断 ・ 事前休業の判断			・ 防災気象情報等の収集 ・ 施設職員への情報伝達			・ (避難誘導体制の確認) ・ (避難ルートの確認)			・ (避難に必要な設備や装備品、備蓄品、避難先への持ち出し品等を点検し準備)		
警戒レベル 2 ↓ 注意体制	人数		名	人数		名	人数		名	人数		名
	・ 状況把握、指揮 ・ 施設職員等召集 ・ (避難開始判断)			・ 防災気象情報、避難情報、避難先情報等の収集 ・ 施設職員や避難支援協力者へ連絡			・ 避難誘導体制の確認 ・ 避難ルートの確認 ・ (避難誘導開始)			・ 避難に必要な設備や装備品、備蓄品、避難先への持ち出し品等を点検し準備 ・ 移動用車両の手配		
警戒レベル 3 ↓ 警戒体制	人数		名	人数		名	人数		名	人数		名
	・ 状況把握、指揮 ・ 避難開始判断			・ 防災気象情報、避難情報等の収集 ・ 利用者家族等への連絡 ・ 市への連絡			・ 避難誘導開始			・ 要配慮者等の装備品の装着 ・ 移動用車両の確保 ・ 避難先への持ち出し品等を運搬		
警戒レベル 4 ↓ 非常体制	人数		名	人数		名	人数		名	人数		名
	・ 状況把握、指揮 ・ 避難先での利用者支援の監督 ・ (緊急安全確保の判断)			・ 市への連絡 ・ 施設職員への情報伝達			・ 避難完了の確認 ・ 避難先での利用者支援 ・ (緊急安全確保の誘導)			・ 避難先での持ち出し品等の管理		

警戒レベル1 ↓ 災害への心構えを高める段階	・ 警戒級の可能性（大雨警報又は暴風警報）「中」又は「高」が発表された場合 ・ 台風の接近が予想されている場合
警戒レベル2 ↓ 注意体制	・ レベル2土砂災害注意報が発表された場合
警戒レベル3 ↓ 警戒体制	・ 高齢者等避難が発令された場合 ・ レベル3土砂災害警報発表された場合
警戒レベル4 ↓ 非常体制	・ 避難指示が発令された場合 ・ レベル4土砂災害危険警報発表された場合

● 事前休業の判断について

事前休業の判断基準となる防災気象情報等

※開業時間と利用者の通所にかかる時間も考慮して、休業の判断をする。

5 情報収集・伝達

(1) 情報収集

収集する主な情報及び収集方法は、以下のとおりとする。

	収集すべき情報	入手先
共通の情報	【防災気象情報（気象庁）】 早期注意情報（警報級の可能性）	・ テレビ、ラジオ、気象庁HP ・ 防災アプリ、豊明市公式LINE等SNS
	【避難情報（市）】 ・ 警戒レベル3 高齢者等避難 ・ 警戒レベル4 避難指示 ・ 警戒レベル5 緊急安全確保	・ テレビ、ラジオ ・ 豊明市のHP ・ 豊明市公式LINE等SNS ・ 緊急速報メール 等
	【避難所の開設状況（市）】 指定一般避難所や福祉避難所の開設状況	・ テレビ、ラジオ ・ 豊明市のHP、豊明市公式LINE等SNS
	道路の通行止め情報	・ 日本道路交通情報センターのHP 等
土砂災害	・ レベル2土砂災害注意報、レベル3土砂災害警報、レベル4土砂災害危険警報、レベル5土砂災害特別警報 ・ 土砂キキクル	・ テレビ、ラジオ、気象庁HP ・ 豊明市のHP、豊明市公式LINE等SNS

(2) 情報伝達

警戒レベル	対象情報	主な入手先	伝達内容	情報伝達の流れ	
				発信者	情報伝達先
警戒レベル1	早期注意情報	気象庁HP等	大雨の警報級の可能性「高」が発表されました。災害への心構えを高める段階です。	情報連絡班	施設職員
	事前休業のお知らせ	統括指揮者の判断を確認	○日は大雨が予想されるため、施設を休業します。	情報連絡班	利用者家族等
警戒レベル2	レベル2土砂災害注意報	気象庁HP等	レベル2土砂災害注意報が発表されました。注意体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員
	職員への招集連絡	統括指揮者の判断を確認	レベル2土砂災害注意報が発表されました。施設に参集してください。	情報連絡班	施設職員
警戒レベル3	レベル3土砂災害警報	気象庁HP等	レベル3土砂災害警報が発表されました。警戒体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	避難先の開設情報	市HP等	避難先の○は開設されています。	情報連絡班	避難誘導班
	高齢者等避難	テレビ、LINE等	高齢者等避難が発令されました。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	避難開始の連絡	避難誘導班に確認	○では○時○分に避難を開始しました。	情報連絡班	市防災防犯対策課
警戒レベル4	避難完了の連絡	避難誘導班に確認	○では○時○分に避難を完了しました。	情報連絡班	市防災防犯対策課
	レベル4土砂災害危険警報	気象庁HP等	レベル4土砂災害危険警報が発表されました。非常体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	避難指示	テレビ、LINE等	避難指示が発令されました。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者

6 避難誘導

(1)避難先、移動距離及び避難方法

土砂災害	避難先名称	移動距離		避難方法				避難に要する時間	避難開始基準
				徒歩	車両				
系列施設や他の同種施設			m	☐	☐	☐	台		警戒レベル3高齢者等避難
避難所			m	☐	☐	☐	台		警戒レベル3高齢者等避難
近隣の安全な場所			m	☐	☐	☐	台		警戒レベル3高齢者等避難

以下に該当するか検討の上、屋内安全確保を選択するかどうかを慎重に判断する。

※家屋倒壊等氾濫想定区域、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域に存していないこと。

※浸水しない居室があること。

※一定期間浸水することにより生じる可能性がある支障を許容できること。

• 緊急安全確保

急激に災害が切迫することにより、避難確保計画に定めた場所への避難を安全にできないような、過酷な事象に遭遇した場合は「避難場所を指定する」に緊急的に移動する。

(2) 避難経路

避難先までの避難経路は、【施設周辺の避難地図】、【施設建物内の避難経路図】のとおりとする。

避難先は、避難訓練等により避難できることを確かめ、必要に応じ見直しするものとする。

7 避難に必要な設備の整備

避難誘導の際に使用する設備等については、下表に示すとおりである。
これらの設備については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

避難に必要な設備等

分類	設備等	数量	設置場所・保管場所
通常の設備	エレベーター		
	上下階の移動のできる大型スロープ		
	車椅子		
	その他（ ）		
	（ ）		
緊急時の設備	停電対策としての非常用電源の設置		
	土のう		
	止水板		
	階段昇降機		
	その他（ ）		
	（ ）		

8 避難に必要な装備品や備蓄品の整備

避難に必要な装備品や備蓄品等の例については、下表に示すとおりである。これらの装備品や備蓄品等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

避難に必要な装備品や備蓄品等

分類	装備品や備蓄品等	数量	設置場所・保管場所
情報収集・伝達	テレビやラジオ		
	インターネットに接続したパソコンやタブレット		
	電話やFAX		
	携帯電話やスマートフォン		
	電池や非常用電源		
避難誘導	名簿（施設利用者）		
	案内旗		
	ビブス		
	懐中電灯		
	ハンドマイク		
	雨具		
	ライフジャケットやヘルメット		
	避難ルートを示したマップ		
	救急用品		
	移動用の車両		
避難先	水や食糧		
	衛生用品や衣料品		
	電池や携帯充電器		
その他			

既存の消防計画等がある場合は、それに追加しても良い。

9 防災教育及び訓練の実施に関する事項

防災教育及び訓練の年間計画

避難確保計画の作成＝防災体制の確立		実施予定時期
避難確保計画の周知	○施設職員、施設利用者や施設利用者の家族、避難支援協力者に電子データなどで計画を共有し、周知する。	
施設職員、避難支援協力者への防災教育	○水害・土砂災害の危険性や避難場所の確認 ○過去の被災経験や災害に対する知恵の伝承 等	
利用者、施設利用者の家族への防災教育	○水害・土砂災害の危険性や避難場所の確認 ○緊急時の対応等に関する保護者・家族等への説明 等	
通所部門		
情報収集、情報伝達訓練	○施設職員の緊急連絡網の試行 ○保護者・家族等への情報伝達手段（メール・電話等）の確認、情報伝達の試行 等	
立退き避難訓練	○避難経路ごとに避難方法（車、徒歩など）を確認 ○施設から避難先までの避難に要する時間の計測 等	
入所部門		
情報収集、情報伝達訓練	○施設職員の緊急連絡網の試行 ○保護者・家族等への情報伝達手段（メール・電話等）の確認、情報伝達の試行 等	
屋内安全確保	○避難方法の確認 ○避難に要する時間の計測 等	
避難訓練結果の振り返り	○訓練終了後に参加者全員で訓練を振り返る ○訓練計画時に決めた訓練の目的等について達成度を確認し、個別の反省点や行動等について意見交換する。	
市への避難訓練結果の報告	○避難訓練結果の報告様式に基づき、市に訓練結果を報告する。	
避難確保計画の見直し	○振り返りであげられた意見や問題点を踏まえて、避難確保計画を見直す。	

11 利用者緊急連絡先一覧表

提出不要

様式8

既存の名簿等で代用可能です。

12 緊急連絡網

提出不要

様式9

既存の名簿等で代用可能です。

13 外部機関等の緊急連絡先一覧表

様式10

既存の名簿等で代用可能です。

14 対応別避難誘導一覧表

提出不要

様式11

既存の名簿等で代用可能です。

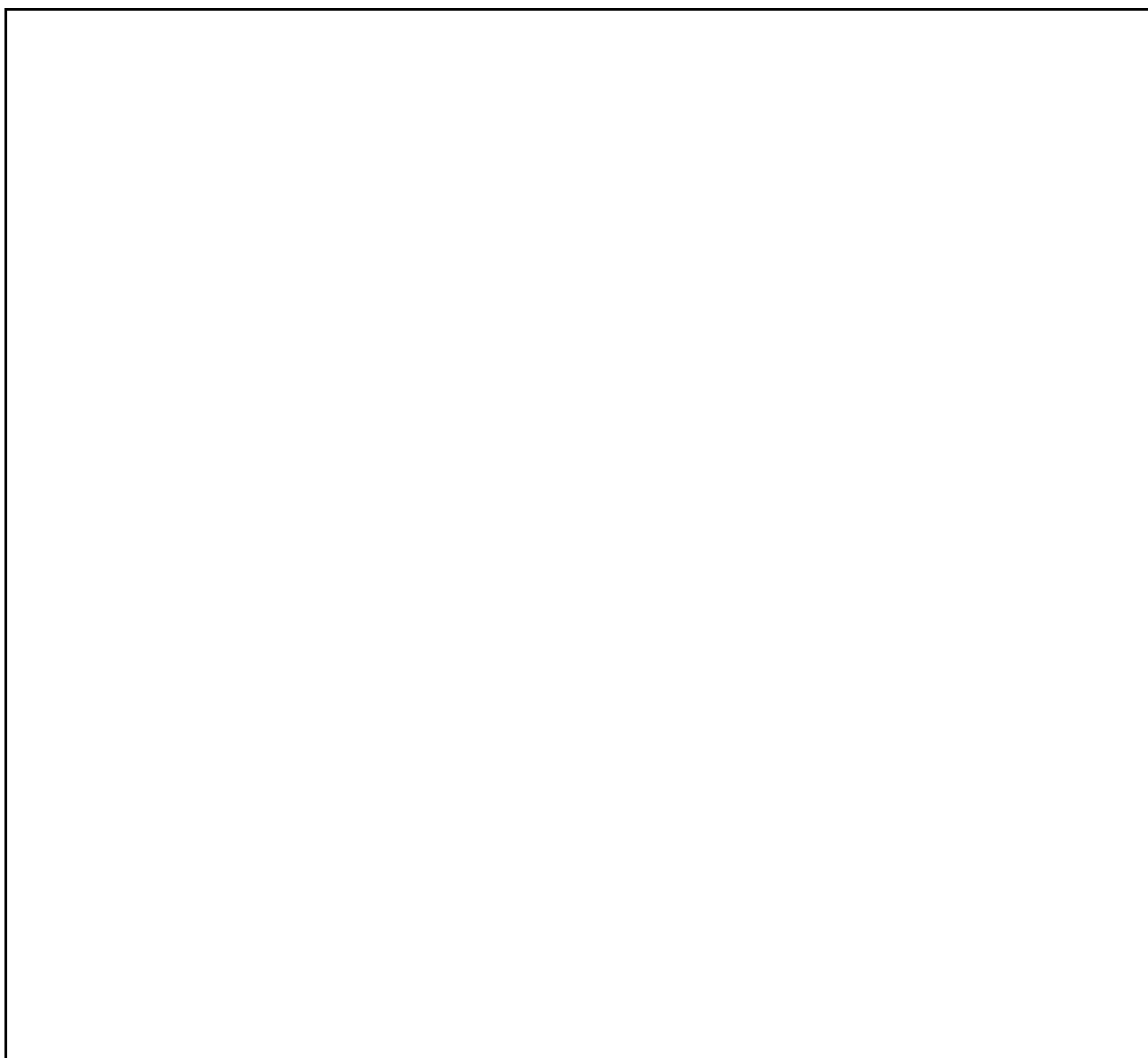
【避難先までの避難経路図】

	立退き避難					
	避難先1	避難に要する時間	避難先2	避難に要する時間	避難先3	避難に要する時間
土砂災害	0		0		0	

※施設の位置、避難先の位置、避難方法（徒歩、自動車等）、避難に要する時間等を記載してください。
避難先は、避難訓練等により避難できることを確かめ、必要に応じ見直しするものとする。

【施設建物内の避難経路図】

	緊急安全確保	避難に要する時間
土砂災害	0	



※施設建物内の避難経路図を記載してください。

避難先は、避難訓練等により避難できることを確かめ、必要に応じ見直しするものとする。